

## 高齢者詐欺被害

### 防止へセミナー

松山で三井住友信託銀

高齢者の特殊詐欺被害防止を目的とした三井住友信託銀行松山支店（松山市）の春季セミナーが27日、松山市のホテルであり、県警の担当者が約60人に手口の特徴を説明し、老後などに備えた資産を奪われないよ



県警の担当者が特殊詐欺への注意を呼び掛けた三井住友信託銀行のセミナー。27日午後、松山市一番町3丁

目

う注意を呼び掛けた。

支店は2016年に県警と連携協定を結び、主に高齢者が参加する相続講座に合わせて実施した。

県警の担当者は、平日の昼間に在宅している可能性が高い高齢女性がターゲットになっているとの分析を紹介。3月には息子をかたるおれおれ詐欺で、JRで大阪や岡山まで現金を持って行った事例が相次いだとし「電話でのお金の話は詐欺。最寄りの警察署や家族ら相談できる人の連絡先などを手元に書いておいてほしい」と訴えた。

支店は「まとまった資金の運用が多いことからお客さまは高齢者層が多い。機会あるごとに県警と協力し啓発していきたい」としている。

県警によると、16年の県内の特殊詐欺認知件数は138件で被害額は約2億4200万円。

（丸岡裕美）